

「空き地で野菜作りを」のご提案について

H22. 8. 29 大森

標題のご提案を受けて、検討に必要と思われる事項を整理してみました。

1. リーダー

実際にやろうとすると、全体を取りまとめるリーダーの存在が必須です。まずは、どなたかに名乗りを上げて頂くことが、出発点になるでしょう。

2. 用地

松下団地内の市有地（未利用土地）を自治会名義で借用することが前提になります。土地の公称面積は475.25㎡ですが、ごく大雑把に測ってみたところ、使用出来る部分は、約290㎡程度と思われます。

3. 実施形態

共済会住宅の方々も含めた松下団地自治会会員による同好会を結成し、共同耕作をするのが現実的でしょう。費用負担を考えると、少なくとも20人以上のメンバーが集まらなければ、同好会の発足は無理だろうと思います。なお、メンバー数20人の場合、同好会メンバー一人（一家族？）あたり年間で7千円から9千程度の費用負担が必要になると考えられます。（4. 項参照）

4. 必要経費概略予測（年間）

土地借用料	114,060円	（自治会名義で借りることが前提）
堆肥、肥料、薬品等	10,000円以上	（原則無農薬、有機栽培としても）
種、苗等	5,000円以上	（原則、種からの栽培として）
農機具等	10,000円以上	（支柱等。農機具は原則持ち寄り）

として、少なくとも約140,000円、～180,000円程度の年間費用が必要となりそうでして、これをメンバー数で割ったものが、一人あたりの年会費に相当します。

なお、「収穫物を売って収入を得よう」という話もありますが、数年先に軌道に乗れば可能かもしれませんが、当初から計画に織り込むのは無理でしょう。

5. スケジュール

もし、来年春から野菜作りを始めようとする、メンバーの確保、自治会の承認、市への土地借用申請、作付計画作成、耕作開始へ向けての土壌作り等々、必要な準備作業が山ほど有るので、早急な活動開始が必要になります。以上